

こむぎ通信

令和8年3号

収穫は、早いところで7月上旬頃からとなる見込みです。
コンバイン等の清掃と整備を行い、適期収穫しましょう！

1 生育状況（6月10日現在）

表1 生育調査結果

品種：ネバリゴシ

地点名	年度	6月10日調査			生育ステージ	
		稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	出穂期	開花期
県生観	本年	74.0	10.1	551	本年 5月14日	5月19日
十和田市	前年	89.0	8.1	667	平年 5月20日	5月27日
相坂	前年比	83%	124%	83%	平年差 6日早	8日早
地区生観	本年	82.4	9.5	610	本年 5月14日	5月19日
十和田市	前年	73.7	8.6	436	平年 5月21日	5月28日
赤沼	前年比	112%	110%	140%	平年差 7日早	9日早

※平年は、県生観：平成23年～令和7年産、地区生観：平成19年～令和7年産の平均値

- (1) 県生育観測ほは、前年より稈長は短く、穂長は長く、m²当たり穂数は少なかった。
- (2) 地区生育観測ほは、前年より稈長、穂長は長く、m²当たり穂数は多かった。
- (3) 県生育観測ほの出穂期は、平年より6日早い5月14日で、開花期は平年より8日早い5月19日であった。
- (4) 地区生育観測ほの出穂期は、平年より7日早い5月14日で、開花期は平年より9日早い5月19日であった。
- (5) 県・地区生育観測ほともに、うどんこ病の発生が見られる。

2 収穫の目安

収穫適期は、出穂後の積算気温で830～950°C、出穂後の日数で51～55日が目安となり、出穂期から予測される刈取時期は、5月14日に収穫したほ場が7月2～8日頃、5月20日に収穫したほ場が7月7～13日頃と予想される。

表-2 出穂日から積算した収穫適期

出穂期	積算気温830°C～950°C到達日
5月14日	7月2日～7月8日
5月16日	7月4日～7月10日
5月18日	7月5日～7月11日
5月20日	7月7日～7月13日

注：出穂後積算気温は、6月10日までは本年値、11日以降は平年値で積算（十和田アメダス）

3 収穫・乾燥の注意点

(1) 収穫

- ① 収穫が早すぎると未熟粒が多くなり、遅すぎると黒かび病や穂発芽の発生により著しく品質が低下するため、適期に収穫する。
- ② 倒伏した小麦は、品質のばらつきが生じるほか、穂発芽になっている可能性が高く、正常な小麦の品質を落とすので、混合させないように仕分けを行う。

(2) 乾燥

収穫後に長時間放置すると熱損粒や異臭麦の発生原因となり、品質低下を招くため、収穫後4時間以内に乾燥機に入れる。また、搬入後の速やかな乾燥のため、適正な子実水分での収穫に努める。